

社会福祉法人と地域共生社会政策の関係をめぐって

○ 久留米大学 氏名 島崎 剛 (会員番号 6462)

キーワード 3 つ: 社会福祉法人 地域における公益的取組み 地域共生社会政策

1. 研究テーマについて

現在発表者が取り組んでいる研究テーマは、社会福祉法人と地域共生社会政策の関係について、地域における公益的取組み（以下、公益的取組み）に影響を及ぼす経営管理要因を手がかりとして検討することである。

社会福祉法人は、社会福祉基礎構造改革から社会福祉法人制度改革に至り、存在意義や役割について議論されてきた。今後は、地域共生社会の実現に向けて、社会的孤立や貧困、8050 問題等地域の多様な福祉課題へ対応することが期待されている。その具体的な方法として、公益的取組みの展開が推進されている。

社会福祉法人の公益的取組みについて、2017 年 5 月に福祉医療機構が実施した調査によれば「実施予定」と回答した社会福祉法人が 51.6%であった。公益的取組みの実態については、発表者が 2017 年 3 月に実施した社会福祉法人の特別養護老人ホーム（以下、特養）を対象とした全国調査（層化無作為抽出による無記名自記式質問紙調査）によれば、63%の法人が取組みを実施していた。

本研究に関連する国内の研究動向としては、社会福祉法人施設の地域貢献活動に関する実態調査や関連要因が示されている（呉 2013,2018）。一方で、社会福祉法人が社会的課題へ対応するための経営課題として、経営管理能力の向上や組織理念、経営戦略に関する意思決定、人的資源の活用、地域との連携の基盤づくり、行政とのパートナーシップの重要性やリーダーシップ、組織文化、チームワーク、人事労務管理などの組織マネジメントが課題として示されている（武居 2007,村田 2011,2014,呉 2015）。

2. 研究テーマ設定の動機・理由

発表者は、全国の特養を対象とした量的調査を実施した。また、アクションリサーチを並行し、実証分析を実施した。両調査の結果から、特養において公益的取組みを組織全体で取り組む点が重要であることを示した。

しかし、組織全体での取組みとは、一体どのような構造をもつのか。また、どのような要因が関連しあっているのかといった、経営管理にかかわる要因を論究するまでに至らなかった。また、公益的取組みは社会福祉法人に責務化された取組みであるが、特養のみを対象としていたため、障害福祉施設や児童福祉施設での取組みの把握も課題として残された。

したがって、社会福祉法人の公益的取組みに影響を及ぼす経営管理要因を明らかにする

ことにより、公益的取組みの展開に寄与するのではないかと考え、特養のみならず他の社会福祉法人施設を対象とした研究実施に至っている。

3. 研究テーマ設定に至る経緯

発表者は研究職に就く以前（博士論文執筆時）、実際に特養に勤務しながら、公益的取組みを実践してきた。しかし、公益的取組みを実施していない他の法人施設職員から「組織全体で取組めない」「どう取り組んでよいかわからない」などといった悩みを多く聞く機会があった。そのなかで、実施している施設と未実施の施設にどのような違いがあるのか、その促進要因や阻害要因を明らかにすることで、未実施の施設でも公益的取組みが展開しやすくなるのではないかと考えた。

一方で、本研究の対象としている社会福祉法人は、経営や運営上の課題を多く抱えていることが先行研究でも明らかになっており、その点が公益的取組みの展開に影響を及ぼすことが考えられた。そこで、発表者は、経営学における管理過程理論や条件適応理論をてがかりに、公益的取組みを促進する経営管理の要因を検討した結果、組織内部の環境と制度などを含めた外部の環境が影響することも示唆された。すなわち、政策・制度によって規定される社会福祉法人の役割が、社会福祉法人の経営管理に与える影響も検討する必要がある。したがって、現在推進されている地域共生社会政策と社会福祉法人の関係を検討することも研究テーマとして必要ではないかと考えている。

4. 研究テーマに取り組んでいく上での悩みや困り事

現場に従事しながら大学院生として6年間研究に取り組み、研究職としての立場を得て2年半が経過している。研究職として勤務をスタートして以来、授業準備（Web対応含む）や学生対応、学内業務等に追われている。一方で、研究者番号の取得や科研費獲得の機会、文献資料等へのアクセシビリティ向上等、現場では困難だった研究環境を得ることができた点は研究遂行への大きなモチベーションとなっている。

現在の研究テーマに取り組む悩みとしては、次の2点である。すなわち①研究対象が予期せぬ状況（コロナ禍）の影響を受けているという点②研究の視点として何論かという軸が定まっていない点である。これまでは、目の前の現場で起こる事象に問題意識を持ち、テーマとして切り取って継続的に調査研究を実施してきた。しかし、研究職としてスタートした今、研究テーマとして掲げている事象について、そもそも自身が何論で捉え追求していくかという根本的な課題を抱えている。

【主たる参考文献】

村田文世（2011）「福祉市場化における社会福祉法人経営－“事業ドメイン”からみる新たな公共性－」『社会福祉学』52（1），16－28.

呉世雄（2018）「社会福祉法人施設の地域貢献活動の実施状況に関する研究－地域貢献尺度の因子構造とその特徴を基に－」『日本の地域福祉』31，29－40.